

熊本大学医学部で行う菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展



「(看護婦遊び)」木下今朝義 1995年 油彩、キャンバス 60.6 x 72.7cm

ハンセン病を こころで学ぶ

2026

2026年5月14日(木)～5月20日(水) 9:00～18:00
※16日(土)は休館、17日(日)は12:00～18:00、最終20日は13時まで

観覧無料

国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会は、1953(昭和28)年に発足した絵画クラブです。特定の師を持たず、独学で描かれた作品の数々は950点以上にもおよび、NHKの日曜美術館でも放映されました。明るい色彩の絵や、阿蘇や園内風景・動物たちを優しい眼差しで描いた作品のなかに、きっとお気に入りの絵が見つかることと思います。

しかし一人静かに絵に向き合っている間に、絵の背景にあるものが心に迫ってきます。穏やかなタッチの中に、二度と戻れない故郷への念や、果たせなかった、親子として慈しみあう暮らしへのあこがれなど、心に響く作品に出合うことでしょう。

差別隔離の中で絵を描く喜びに救われたとおっしゃっていた方達(多くは故人となりました)の、生き活きとした作品に直接ふれ、いかなる環境でも希望を見いだす人間の強さを作品群から感じていただきたく思います。過去の話でなく今なお続く課題として、医学部生だけでなく、他学部の学生、教職員、その他さまざまな方々に、絵画との対話を通じてハンセン病について、こころで学ぶ機会になれば幸いです。

主催：熊本大学附属図書館医学系分館
協力：一般社団法人金陽会、国立療養所菊池恵楓園、国立療養所菊池恵楓園絵画クラブ金陽会
企画：熊本大学附属図書館医学系分館と藏座江美さん(キュレーター)の共同企画

藏座江美[ぞうざ えみ]さん
学芸員、司書、上級デジタルアーキビスト。
2002年の熊本市現代美術館開館当初から菊池恵楓園と関わり、菊池恵楓園絵画クラブ金陽会作品展「光の絵画vol.1～3」を企画・担当。
現在、一般社団法人金陽会理事として、菊池恵楓園絵画クラブの作品の調査に携わる。
「ふるさと、奄美に帰る」(2018 奄美大島)、「知らない」を観に行こう。vol.1」(2018 愛知)、「ふるさと、天草に帰る」(2020 天草)、「知らない」を観に行こう。vol.24」(2026 合志市)、など各地で展覧会を開催。



■お問合せ
熊本大学附属図書館医学系分館
〒850-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番地1号
☎096-373-5035